



平成 30 年 12 月 26 日

各 位

本店所在地 東京都港区芝浦二丁目 15 番 4 号  
会 社 名 中 野 冷 機 株 式 会 社  
(JASDAQ・コード：6411)

代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 森 田 英 治  
問 い 合 せ 先 取 締 役 経 理 部 長 渡 辺 基 二  
電 話 番 号 (03) 3455-1311

### 中長期経営計画の策定について

当社は、おかげさまで 2017 年 4 月に創業 100 周年を迎えさせていただきました。2018 年度を「第二の創業」元年と位置づけ、2018 年 2 月 9 日付「企業価値向上に向けた取り組みに関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、企業価値向上に向けた様々な取り組みを進めて参りました。

その一環として、2019 年度から 2023 年度の 5 か年を対象期間とする「中長期経営計画 *N-ExT 2023*」を下記の通り策定いたしました。

#### 記

#### 1. 当社を取り巻く事業環境についての認識

当社を取り巻く事業環境は、世界的に進む環境対策、一般消費者のライフスタイルの変化、人口減少に伴う労働力不足などの社会トレンドの影響を受け、大きく変化しています。

かかる変化は、顧客ニーズにも大きく影響するため、既に成熟した冷凍・冷蔵設備業界にも変革を生じさせる契機となりうるものであり、当社にとっても大きな成長機会を生じさせるものです。そこで、当社としても従来ショーケース販売・冷凍・冷蔵倉庫の建設に留まらない、顧客ニーズに深く根差した事業展開をすべきと考えております。

#### 2. 「第二の創業」にあたっての中長期経営計画のコンセプト

「冷やす」技術をもとに最良の製品・サービスを生み出し、顧客と共に新しい課題に取り組むことで社会に貢献する

- ① 安定：新技術を活用した、更なる効率化を実現できる製品・サービスの提供
- ② 成長：従来のお客様の「冷やす」に留まらないお悩み・ご要望の解決
- ③ 挑戦：新たなお客様へ向けた、「冷やす」を起点とするサービスの提供

### 3. 「中長期経営計画 *N-ExT 2023*」\*の概要

当社は冷凍・冷蔵設備の専門メーカーとして、お客様のご要望に応える提案活動に始まり、製品設計・製造、施工管理、納入後のメンテナンスまで、一貫したトータルサービスを提供しております。

当社は、これまでの企業活動を前提としつつも、今後さらなる企業価値の向上を図るべく、「中長期経営計画 *N-ExT 2023*」では、前記 2. のコンセプトの下、上記既存事業を一層深化させるとともに、そこで培ってきた技術・ノウハウを活かしながら新規領域への進出を図るべく、以下の 3 事業に注力して参ります。

- ① ショーケース・倉庫事業の更なる強化
  - ・ 従来の取り組みを超えて、新技術を活用した、省人化・効率化・省エネに対応した製品・サービスの開発と提供を目指す
  - ・ バリューチェーンの高度化に対応するための社内体制と人材の強化を図る
 →より顧客の皆様のニーズに応えられる製品・サービスの提供が可能な存在に
- ② メンテナンス事業の拡大
  - ・ 従来扱ってきたショーケースや冷凍機以外の製品につき、アフターサービス領域へ進出するとともに、一連のメンテナンスをパッケージ化し提供する
  - ・ 予知保全、大規模データ管理を活用してメンテナンス事業の効率化
 →ショーケースや冷凍機に留まらない、バリューチェーン全体の最適管理に寄与する存在に
- ③ 東南アジアへの進出
  - ・ 今後成長が見込める市場で、冷凍・冷蔵倉庫の建設に参入
  - ・ 将来的には、市場の発展に伴いショーケース販売まで手掛ける
  - ・ 中国における合弁事業の維持・拡大
 →日本で培ってきたノウハウを活用して、アジアの食生活を支える存在に

\* これらの事業に取り組む意思を表す名称として、本計画を *N-ExT2023* と命名致しました。

- ・ N：“Nakano”
- ・ E：“Elaboration” ⇒ 丹念に造られた製品、丁寧なサービス
- ・ x：“Elaboration” と “Technology”の融合
- ・ T：“Technology” ⇒ これまでにない最新技術の活用

上記の施策を実施するとともに、将来的な成長を見据えた約 70 億円相当の事業投資を対象期間中に実行することを計画しております。

(1) 事業基盤の強化 (60 億円) : ショーケース・倉庫事業、メンテナンス事業、東南アジア事業の運営に必要な資金

・ AI・IoT 基盤の整備に必要なシステムの刷新、製造工程効率化のための設備入替及び新機器導入、メンテナンスノウハウ獲得に備えた事業提携、現地法人設立にかかる諸費用 等

(2) 成長投資 (10 億円) : 長期の社会トレンドに対応するための最新技術・ノウハウへの投資

・ 省人化・時短化、AI・IoT・ロボティクス、環境対応・災害対策等

また、上記 (1) 及び (2) の投資に加え、当該期間中には研究開発活動に 16 億円を充てることを計画しております。

#### 4. 経営目標

以上の取り組みを通じて、2023 年度に以下の経営目標の達成を目指します。

##### 【連結】

	2017 年度実績	2018 年度予想*	2023 年度目標
売上高	278 億円	275 億円	350 億円
営業利益	27 億円	24 億円	32 億円
EBITDA	30 億円	28 億円	40 億円
ROE	7.4%	6.4%	8%以上

\* 2018 年度第 3 四半期の業績予想値を基にしており、12 月期決算の確定値ではありません

なお、今後は事業分野を「ショーケース・倉庫」「メンテナンス」「海外」の 3 つの事業分野に分割して、それぞれの情報を開示させていただく予定です。その上で、2023 年度は事業分野ごとの売上高として、それぞれ 244 億円、60 億円、46 億円を計上することを目標としております。

なお、本計画の詳細については、2019 年 2 月に開催を予定している 2018 年 12 月期 機関投資家向け決算説明会にて、決算情報と併せてご説明させていただくとともに、当社ホームページ上で掲載する予定です。

以 上